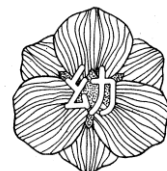




ひがしとみずようちえんだより ～ 第1学期を終えて ～



令和7年7月17日
小田原市立東富水幼稚園
文責 宮川 晃

4月8日（火）、年少児（ひよこ組）13名と年長児（すみれ組）14名の計 27名の幼児、そして11名の教職員による東富水幼稚園の令和7年度がスタートしました。

入園当初は、初めての集団生活に戸惑っていたひよこ組の子どもたちも、今では1日の流れや当番活動のやり方等を覚え、自分でできることが増えてきました。「今日は恐竜ごっこをしよう」「電車ごっこをしよう」等と、自分のやりたいことを見つけようとする気持ちが育ってきています。

すみれ組の子どもたちは、年下のひよこ組の子どもたちにやさしく声をかけて教えたり、「一緒に遊ぼう」と誘ったりすることができています。4月末に行ったチューリップ会（すみれ組が中心になって、ひよこ組の子どもたちに楽しんでもらう会）後には、ますますお兄さんお姉さんらしくなってきました。



始業式



入園式

東富水幼稚園では、

令和7年度の教育目標を

『認め合い育ち合う子どもの育成』とし、

★自ら関わることを楽しめる子

★粘り強く頑張れる子

★自分も友達も大切にできる子

を目指し、指導しています。

また、教育目標を達成するために、今年度は公開保育研究会を開き、

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』

サブテーマ ～ 幼児が主役の保育について考える ～

に向かい、全職員で研究を深めています。



「すみれ・ひよこ けんきゅうしつ」ができました

今年度、すみれ組とひよこ組の廊下の間に、「すみれ・ひよこ けんきゅうしつ」ができました。「食べたスイカやビワの種をまいたら芽は出るかな」「カエルがいたから持ってきたよ。みんな見てね」といった具合に、見たいこと、調べたいことが毎日置かれ、みんなで研究しています。さてさてどんな科学者に育つのか楽しみです。

重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通した、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通した命の学び
- 基本的な生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



あいさつや着替え、お弁当のしたくや後片付け、机の出し入れ、トイレや歯磨きなど、自分のことは自分でできるように、毎日の積み重ねを大切にしながら過ごしています。基本的な生活習慣を身につけるためには、大人の支援だけでなく、友だちと一緒にすることも大切です。ひよこ組の子どもたちにとって、4～7月までは基本的な生活習慣を身に付ける大切な4か月となっています。



幼児期は、遊びを中心にして主体的に人やものなどに関わりながら、総合的にいろいろなことを学ぶ時期です。今学期の子どもたちもごっこ遊びが盛んで、ひよこ組ではアイスクリームさんごっこや恐竜ごっこ、電車ごっこ等、すみれ組ではアクセサリー屋さんに「すき家」さん等のお店屋さんごっこやお医者さんごっこ等、様々なごっこ遊びが行われました。



園庭の芝生の上では、子どもたちが元気いっぱい跳ね回っています。ダンスをしたり追いかけてっこをしたり、上り棒や太鼓橋、ブランコや滑り台などの遊具を使っての遊びをしたりしています。中でも、砂場遊びは大好きです。また、地域の指導者によるサッカー教室を開催したり、プールを使って水遊びをしたりするなど、子どもたちの興味関心の高い運動や季節に合った運動などに取り組んでいます。秋には、緑がまぶしい芝生の上で、スポーツフェスティバルを開催します。



年長組では、5月にタマネギの収穫をしました。6月には、メークイン等のジャガイモを収穫しました。また、今年度は収穫したタマネギやジャガイモを使ってカレーパーティーを復活させ、日頃お世話になっている地域の方々をご招待しました。自分たちで育てた作物は特に美味しいですね。そして、今年度も田植えに挑戦しました。泥の田んぼにおそろおそろ入りながら、JA からいただいた稲の苗をていねいに植えることができました。秋の稲刈りの時期がとても楽しみです。



子どもたちの安全をより確かなものにするため、防災・防犯・交通安全・感染予防等についての安全教育を毎月行っています。4月には親子交通安全教室と地震対応の避難訓練、5月には火災対応の避難訓練、6月には幼小中合同の引き取り訓練（地震）と酒匂川決壊対応の避難訓練を実施しました。また、7月の防犯教室には、講師として神奈川県くらし安全課より2名の職員の方々にお願いいただき、誘拐されないようにするにはどうしたらよいかを教えてくださいました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・情報発信、教育相談の充実
 - ・家庭とつながる活動の展開
 - ・楽しみながら参加できるPTA 活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用



「保護者と教師の会」の役員会では、毎回、子どもたちの園生活を豊かなものにするために、よりよい活動をしていこうと積極的な意見が交わされています。また、スクールボランティア活動も盛んで、読み聞かせや園舎の清掃活動時には、事前に読み聞かせの練習をして本番を迎えていたり、工夫して清掃作業を行っていただいたりしました。今後も、様々な場面でボランティアをお願いすることがあろうかと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上



6月24日（火）、講師として小田原短期大学保育科の教授と小田原市教育委員会指導主事をお招きし、小田原市公開保育研究会を開きました。当日は市内の幼稚園や保育園の先生方も参加され、子どもたちの様子や教師の支援の仕方等を熱心にご参観いただきました。午後の研究協議や指導講評の時間には、東富水幼稚園の支援のあり方やチーム力の良さをほめていただきました。今後も、研究主題「幼児の主体性を育むための教師の資質向上」とサブテーマ「「幼児が主役の保育について考える」を職員一同で目指していきます。

安全で楽しい夏休みをお過ごしください

3つの「あ」で安全で楽しい夏休みを過ごしましょう。3つの「あ」で始まる言葉とは…

あいさつ

3つの「あ」の1つ目は「あいさつ」です。夏休み中にどこかへ出かけたり、親戚の人に会ったりと、いろいろな人に出会うことと思います。みなさんの成長した姿を見ていただくためにも、しっかりとあいさつしましょう。

あんぜん

2つ目は「あんぜん」です。交通事故や水の事故にあわないように、また、知らない人について行かないように、家族との約束を守り、気持ちよく、安全に過ごせるようにしてほしいです。

ありがとう

3つ目は「ありがとう」です。みなさんの家族やまわりの人は、みなさんが楽しい夏休みを過ごせるようにと考えてくれています。いつも感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」と言えるようにしましょう。

3つの「あ」を大切に、楽しい夏休みにしましょう。

